



一気に夏に近づいたようで、暑くなってきました。来週からいよいよ現場実習・校内実習が始まります。生徒はふれあいジョブの活動と並行して、現場実習の事前学習を進め、実習に向けて気持ちを高めています。保護者の皆様におかれましても企業との顔合わせ等、ご協力いただきありがとうございます。これから始まる実習についてもご支援お願いいたします。

みんなと仲良く生活するために

卒業後の生活は多くの方と関わります。今現在もそうですが、意識して関わる場面もありますが、意識していない・気付かない場面、何となく過ぎ去っている場面の方が多いです。日常の中で、近所の方との挨拶を交わしたり、お店で買い物をしたり、もちろん実習で事業所の方々とやり取りをしたりと、様々な場面があります。



実習先の方と打ち合わせをするときにこんなことがありました。
「〇〇さんこの間、△△で歩いているところ見たよ、1人でいろんなことできるんだね」
「買い物したら、◇◇さんが覚えてくれて「こんにちは」って声を掛けてくれたよ」 等々
本人や我々が気付いていないところで地域の方が本人の存在に気づき、見守ってくれていることがあります。ありがたいことです。

多くの方たちと関わりながら、みんなで仲良く生活していく上で、お互いの立場や都合を考え、やり取りをしながら生活することが大切だと考えています。お互いというのは、生徒本人・保護者とその周囲で関わる様々な皆様(ご近所、事業所、お店やバス会社の方等)です。

当校に通う生徒たちは全員、何かしらの苦手なこと、不得意なこと、支援を要することが周囲の人より際立つことが多いです。(逆に上手なこと、得意なこと、頼りにしたいことが突出していることも多くあります) その中で、生徒自身が様々な場面や繋がりを意識するのは難しいかもしれません。

しかし、社会生活を営む上では好ましいことを、考えなくても当たり前のこととしてできるようになれば、みんなと仲良く生活できる関係作りに繋がると思います。

例えば・・・

- 相手に伝わる挨拶をすることで、気持ちよく関わりをもってもらえる。
- 身だしなみを整えることで、お客様に良い印象を持ってもらえる。
- 時間を守ることで相手に頼りにされる、送迎に同乗する皆さんと気持ちよく関われる。
- 作業のやり方に気を付ける(工夫する)ことで、能率が上がり頼りにされる。

等々

多くの方と関わる上で大切なことがあります。本人一人でするのが難しいのであれば、ご家族で手伝ったり、確認をしたり、少しでも本人ができるように練習の機会を作ってみたりしていくことが大切です。苦手なことがあるから、手帳を持っているから挨拶や身だしなみを整えなくても大丈夫、時間を守らなくても大目に見てもらえるというわけではなく、お互いが気持ちよく関わる上で大切な取組があります。

現場実習では、ふれあいジョブの職場経験(どんな仕事を行い、どんな力が必要かを知る)をも大切ですが、卒業後の生活サイクル(実習先の事業所や覚書の時間を想定して)や社会生活を実際に経験し、知り、継続していくことが重視されます。生徒も保護者も大切な経験です。

今回の実習を大切な機会として、お互いの立場や都合を考えながら周囲の方々と関わりをもってみてはどうでしょうか。

お互いの立場や都合を考える上でも、実習先での様子を見ておくことは大事になります。ぜひ「子どもがお世話になっています」と挨拶をしながら、現場での様子を見ていただければと思います。(訪問される場合、学校にもご一報ください。)

毎年提示させていただいていますが、後のページに“将来に向けて大切な力”を掲載しました。今まで読んでいた方も読み返していただき、参考にいただければと思います。

前期実習に、ご協力いただく事業所の皆様

地域の皆様から、当校の生徒たちに職場実習の場を提供していただいています。ご協力いただいている事業所の皆様をご紹介します。

ふれあいジョブ(全14事業所 順不同)

- <福祉サービス>
ハーモニー(生活介護)、エンゼル妻有(就労移行)
ワークセンターあんしん(就労継続B)、ワークセンターなごみ(就労移行)
- <一般企業>
(株)松乃井酒造場、信濃クミ(株)、(株)トックス、(株)千手、JA十日町精米センター
(株)児玉建設、十日町情報館、(株)まちづくり川西千手温泉千年の湯、
(株)ぴっとランド十日町給油所、ホームセンタームサシ十日町店、

現場実習(全19事業所 順不同)

- <福祉サービス>
ケアステーション魚沼(生活介護)、長岡療育園(生活介護) ハーモニー(生活介護)、
なごみの家(生活介護・就労継続B)、ワークセンターなごみ(就労移行)
ワークセンターあんしん(就労継続B)、エンゼル妻有(就労移行)

- <一般企業>
(株)村山土建、(有)服部創業、(株)メイケン、信濃クミ(株)、
まほろばの里川治、希望の里松涛園、デイサービスセンターしちかわ、
JA十日町精米センター、(株)ノジマ十日町店、ホームセンタームサシ十日町店、
十日町地域森林組合、津南町森林組合、

皆様のご協力
に感謝申し上
げます。



将来に向けて大切な力

卒業生した後の生活を安定させていくために、以下の内容が大切になります。
障がいの重い、軽いではなく、みんなにとってが必要な力です。
生徒自身で行うことが難しければ、経験を積む場面や支援が重要です。
参考にいただければと思います。

(一)健康・体力

- ・事業所は毎日働き続けたり、活動をしたりするところです。そのために早寝、早起き、食事をしっかり摂るなど、家庭で毎日規則正しくリズムを整え、健康管理をしていく力が大切です。清潔さを保つことも大切です。
- ・学校は行事があったり、夏休み、冬休みがあったりと休憩や休日が多いのですが、職場は週2日の休日をはさんで丸1日の労働を1年間続けていきます。体力・根気などの持続力が必要になってきます。

(二)一人でできる(身辺自立、作業の取組)

- ・事業所は生産性を高め、利益を追求しているところです。現場での支援者は、学校のように大勢いるわけではありません。また介護をサービスとする事業所でも、支援者の数では同様です。生活習慣が不十分であれば、それだけ事業所の負担となり敬遠される原因となります。支援具を利用したとしても、「一人でできる」「確実にできる」ことが望まれます。



《具体的には》

- | | |
|-------------------|--|
| ①食事がきちんとできること | ⑥任されたことに正確に、落ち着いて取り組めること |
| ②トイレがきちんと使用できること | ⑦時間に遅れないこと |
| ③衣服の着替えができること | ⑧ちょっとした時間待ってられること |
| ④持ち物の整理整頓ができること | ⑨通勤や作業場への移動ができること |
| ⑤道具の準備や後片付けができること | ⑩家庭生活や社会生活の中で自分でできることがあること(手伝いや地域活動など) |

(三)集団生活

- ・事業所では仲間と協力しながら仕事を進めていく、集団での生活になります。職場では、マナーを守り、周囲の人と穏やかに接する力が大切です。周囲に好感をもってもらえると本人のよさが発揮できるようになります。
- ・周囲に迷惑と受け取られる行動は好ましくありません。どんな時にどんな行動に表れるのか。喜怒哀楽の表現などをはじめ、障がいに伴う癖や特有の行動について十分理解をしていただくことが大切です。乱暴や奇声、性の問題等は対処に困ってしまう課題です。
- ・集団生活では、指導や注意、人間関係などのストレスが必ずあります。気持ちの強さも必要です。余暇や楽しみを見付け、解消する方法をもっていることも大切です。



(四)意思表示・指示理解(コミュニケーション)

- ・事業所では上司や支援者、同僚と接しながら仕事(活動)をします。本人なりのコミュニケーション手段を使って、挨拶や返事ができる力、自分の意思を伝える力、相手の伝えたいことを理解する力がとても大切です。(言葉でなくても、やり取りの仕方が定着していることは重要です)

- ①挨拶・・・「おはようございます」「お先に失礼します」「ありがとうございました」...
- ②返事、報告・・・「はい」「できました」「つぎは何をすればいいですか」...
- ③自分から聞く、伝える・・・「おしえてください」「わかりません」「けがしてしまいました」...

④失敗した時・・・「すみません」「まちがえました」
かくしたり、ごまかしたりは、絶対にしないこと。自分から正直に話すことが大切です。
それによって好感がもたれます。
(製品の中に欠陥の品があった場合は、会社の信用にも関わってしまいます。)

(五)興味・意欲・行動

- ・いろいろな物事・取組に興味をもてることは、日常活動を送る上で大切です。この力が無いと引きこもった生活になってしまいがちです。興味をもつことから、意欲がわき、行動を起こせることにつながります。これは仕事だけでなく、休日の過ごし方にもつながります。(友達と一緒に遊びに行けるということも大切なことです)
- ・なぜ働くかという理由(収入を得る、自立する等)が本人なりに分かり、意欲をもって働き、喜びを実感できることが大切です。また、物事に集中して取り組む力、一定時間働き続ける力、嫌なことや苦手なことでも、できるだけやろうとする力も大切です。

(六)危機回避

- ・職場には機械や道具等危険な物がたくさんある場合があります。また通勤する上で、交通安全に気を付けなければなりません。危険が分かり、回避できる力が大切です。
- ・携帯電話からの有害サイトへのアクセス防止や望ましい金銭の使い方、金銭的なトラブルの回避、対人的なマナーなどを身に付けることで危機回避につながります。

(七)善悪の判断

- ・良いこと、悪いことをしっかり理解し、行動できることは大切です。障がいがあるから、何をしても許されるというわけではありません。社会で地域の皆さんと一緒に生活していくためには、本人が善悪の判断をしっかりと行行動することは、非常に大切なことです。

※記載した内容は、すべての卒業生に求められます。

しかし、個々の実態や生活する環境で、具体的に求められる内容は変わります。実習などで現場の様子も見ていただき、お子さんの実態と照らし合わせていただければと思います。
また、ここで挙げたものは、すぐには身に付きません。繰り返し繰り返し教えていくことで身に付きます。できるようになってからも、社会で生きていく上で望ましい状態か、チェックと修正をしていく必要があります。



新潟県立小出特別支援学校 川西分校

進路教室のご案内

5月の会では、当校保護者の他に地域の学校の先生方、保護者の方たち7名からご参加いただきました。ふれあいジョブの様子や卒業生の現在の生活などを写真を交えてお伝えしました。また福祉サービスの利用の仕方や手帳の取得の仕方なども話題になり、参加した皆様の立場で色々とお質問いただきました。

進路だよりでも情報を発信もしていますが、詳しくお伝えできないこともあります。進路教室では、個別のケース対応などを基に「こんな場合は・・・」と詳しくお伝えすることができました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

6月は今学期最後の開催で、下記のように実施します。ご多用の中かと思いますが、多くの皆様からの参加をお待ちしています。

6月の進路教室

期 日	予定するテーマ内容	対象等
6月25日 (木)	・現場実習の取組について ・保護者として取り組んでもらいたいこと	1学年

〈時間・場所〉 13:30～ 川西分校第2作業室

現場実習は何で行うのでしょうか。当校の実習の特徴はどのようなものなのでしょうか。どんな取組にして行くと良いのでしょうか。これから本格的に実習を行う上で、保護者として取り組んで欲しいことも一緒に話題にできたらと思います。

また、各学年での実習の取組についても、段階を追ってお伝えしようと考えています。

初めて実習に向かう1年生はもちろん、これから当校を受検しようと考えている方、2年生、3年生になりこれからの取組を確認したい方、是非ご参加ください。



次回(8月)の進路教室の予定

今回はPTA進路研修部と合同開催です。外部講師をお招きして講話を予定しています。

〈日時〉 8月上旬 ※詳しく日程は後日

〈内容〉 ・外部講師による講話

※詳しい内容が決まりましたら、配布物やホームページでご案内致します。



今年度もよろしくお願ひします。不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当:進路指導部 細井哲明 佐藤正高

